

保土ヶ谷区地域子育て支援拠点「こっころ」の次期5か年運営に求める姿

- 1 外国籍やひとり親、DV、貧困等の悩みを抱える養育者、障害児や発達が気になる子の養育者など、多様なニーズを踏まえて取組を充実させている。
- 2 仕事をしながらでも参加しやすい取組や男性同士が日ごろから気軽に話せるような場づくりなど、ライフスタイルの多様化に対応した支援を進めている。
- 3 子育て支援連絡会等において中心的な役割を担い、様々な子育て支援関係施設・者との連携促進や新たな地域資源の発掘に力をいれることで、それぞれの地域において地域特性や子育て世帯のニーズを踏まえたネットワーク構築が進んでいる。
- 4 区内の子育てや子育て支援に関する情報が集約され、拠点の情報発信が強化されることで、多様な子育て世帯を対象とした情報や地域ごとの子育て情報の提供が充実している。特に拠点のホームページや子育て応援サイトアプリ「パマトコ」等のデジタル媒体を効果的に活用した情報発信ができている。
- 5 多様化する子育てに関する相談ニーズに対応するために、子育てに関する現状や課題について引き続き情報収集を行うとともに、事例検討や振り返りの機会をもつことで職員のスキルアップが図られている。
- 6 支援が必要な状況にある親子については、速やかに適切な相談窓口につなぐとともに、拠点職員についても全員が不適切な養育を予防する意識をもった対応ができる。